

ジャパントロフィー選手権

スピード
ST男子1500

斎藤、復帰初戦V

ドーピング検査でけん責処分

昨年2月の平昌冬季五輪でのドーピング検査で陽性反応を示したスピードスケート・ショートトラック男子の斎藤慧(23)

Ⅱ神奈川大SCⅡが9日、ジャパントロフィー選手権(広島・ひろしんビッグウェーブ)で競技会に復帰し、最初の種目の男子1500mで優勝、続く500mでは3位に入った。

2017年12月の全日本選手権以来の実戦に「本当に戻ってこられて良かった。力が通じると自信が持てた」とほっとした様子。22年北京冬季五輪に向け「メダルを期待される選手になりました

受けた抜き打ち検査で、利尿作用がある禁止物質「アセタゾリミド」に陽性反応を示し、暫定資格停止処分を受けた。今年1月、スポーツ仲裁裁判所(CAS)の仲裁手続を経て、資格停止期間を伴わない異例の「けん責」処分になったことが発表

された。



スピードスケート・ショートトラックのジャパントロフィー選手権で競技会に復帰し、初戦の男子1500mで優勝した斎藤慧

Ⅱ広島市のひろしんビッグウェーブ